

第34回 尾瀬ハイキング

第1支部 (株)モリヤマ
監事 森山孝治
平成19年10月6日 晴れ
10月7日 雨

尾瀬ハイキングという事で大勢の参加を期待しましたが、磯部氏、乾氏、それに小生(森山)の三名、チョイ悪おやじの三人組の尾瀬行になりました。

10月6日PM11時55分東武尾瀬夜行に乗車。多分小生の痛風を気に掛けてくれたのでしょうビールでなくチューハイでまずは行程の無事を祝って乾杯。続いて磯部氏持参の焼酎4合、さらに内田氏差入れのウイスキーを半分。会津高原駅にはAM3時頃着、一時間ほど車内で仮眠。酔も手伝って周りの騒めきで目を覚ますと大半は下車、急いで下車するもトイレは長蛇の列、早めに起きて車内で済まそうと話していたのですが、ええい、ままよと乾氏と小生、関東のなんとか一。もちろん副理事長は横を向いていました。

バスにて沼山峠AM6時半、いよいよ尾瀬への第一歩。途中朝霧の中、逆光にうごめく人影。幻想の中で朝食。にぎりめし一つたいらげる内に霧は一気に晴れて燧ヶ岳が眼の前。晴天に恵まれたのでお二方に燧ヶ岳の登山を勧めたのですが、小生一人置いていく訳にはと、行動を共にしてくれたので、第一回大山ハイキングの際、二人は初心者を見捨て先に行ってしまう薄情者だと書いたのは取消さなければと思いつつながら一気に尾瀬沼まで。沼畔の長蔵小屋にAM7:30。体を軽くして尾瀬沼周辺を燧ヶ岳のビューポイントを探して写真撮影。鏡の様な沼面に写る燧ヶ岳のすばらしい事。(写真をどうぞ)

沼尻から見晴までの下りは本来この時期紅葉の最盛りの筈とか。今年はまだ緑が強く所々、二本色づいている程度でした。今晚の宿、原の小屋のある見晴にAM11時着。無事到着を祝って乾杯。昼食をとりながらチェックイン時間PM12:30まで原の小屋前で乾杯につぐ乾杯。

明日は天気がかずれるとの事なので午後、東電尾瀬橋(工事中)、温泉小屋まで散歩。PM5時夕食。消燈までの長い夕べ、御想像に任せるとして最後はヘッドライトを付けてとか?小生其の前にダウンで本当かどうか定かではありません。

朝、案の定雨の音で眼が覚める。AM6:30朝食。 AM7:20原の小屋出発。8月から日光国立公園から尾瀬国立公園へと独立を果たしたので祝いの垂れ幕があちこちの小

屋に。原の小屋も風呂はある、ウォシュレット付き水洗トイレは有るので、もう小屋というより民宿といった感じです。

礒部氏、小生、ザックカバー、スパッツ(ゲートル)など雨に備えたが乾氏、山岳部はそんな物は認めないとの事。山岳部のプライドか。雨の木道は滑るのに乾氏サッ、サッと歩く。途中からスニーカーの中に雨がいったかサッ、サッのあとグチョ、グチョ。いかにも歩きにくそうなので、スパッツを馬鹿にするからと内心ほくそえむも「雨が入って歩きにくいでしょう」「山岳部だから」意味不明。

秋一色の草紅葉の尾瀬ヶ原、中にエゾリンドウ一輪。白樺を遠景に池塘(ちとう：湿原内の池)を見ながらの雨の尾瀬も又一興。

山ノ鼻小屋にAM8:30着。鳩待峠の登りに備えて一服。峠にAM10時着。

乗合タクシーで戸倉温泉まで。一風呂あびて汗を流す。御徒町へギソバにて打上げ。チョイ悪おやじの3人旅でした。

最後に、常に小生の後方を歩いていただいた礒部氏には特に感謝、感謝。